

# 可児市地区センター 個別施設計画

令和2年12月

可児市市民部地域振興課

# 目次

1	目的と位置づけ	1
(1)	目的	1
(2)	位置づけ	1
2	計画期間	1
3	対象施設	1
4	施設の現状と課題	2
(1)	現状	2
(2)	課題	9
5	今後の方向性	10
6	施設の劣化状況	10
7	施設の日常点検	11
8	対策の優先順位の考え方	11
9	対策内容と実施時期	11

## 1 目的と位置づけ

### (1) 目的

本計画は、可児市公共施設等マネジメント基本方針（以下「基本方針」という。）および可児市公共施設等マネジメント基本計画（以下「基本計画」という。）に基づき、個別施設ごとの具体的な対応方針を定める計画として、点検・診断により得られた個別施設の状態や、維持管理・更新等に係る対策の優先順位の考え方、対策の内容や実施時期を定め、長期的な視点から財政負担の軽減・平準化を図りながら老朽化対策等に取り組むために定めます。

### (2) 位置づけ

本計画は国のインフラ長寿命化基本計画（平成 25 年 11 月「インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議」で決定）に基づく個別施設計画として位置づけられます。

また、可児市公共施設等総合管理計画（基本方針及び基本計画）の下位計画に位置づけられます。

## 2 計画期間

本計画の期間は、令和 3 年度（2021 年度）から令和 12 年度（2030 年度）までの 10 年間とします。計画の達成状況を踏まえて、本計画は 5 年を目安に見直しを行うものとします。

なお、計画期間内であっても、社会情勢による状況の変化、事業の進捗状況等に応じ計画の見直しを行うこととします。

## 3 対象施設

本計画の対象施設は、以下の施設とします。

番号	施設名	所在地	敷地面積	延床面積
1	今渡地区センター	今渡 1521-4	5,286.45 m <sup>2</sup>	2,137.07 m <sup>2</sup>
2	土田地区センター	土田 2352-2	2,758.72 m <sup>2</sup>	1,587.43 m <sup>2</sup>
3	帷子地区センター	東帷子 1011	29,467.86 m <sup>2</sup>	3,104.56 m <sup>2</sup>
4	春里地区センター	矢戸 407（本館） 矢戸 719-2（分館）	7,533.00 m <sup>2</sup>	2,357.55 m <sup>2</sup>
5	姫治地区センター	下切 1530	11,503.51 m <sup>2</sup>	1,886.95 m <sup>2</sup>
6	平牧地区センター	二野 2547-4	4,436.50 m <sup>2</sup>	2,071.40 m <sup>2</sup>
7	久々利地区センター	久々利 1644-1	5,911.18 m <sup>2</sup>	1,292.12 m <sup>2</sup>
8	広見東地区センター	瀬田 1736	4,998.00 m <sup>2</sup>	1,104.62 m <sup>2</sup>
9	下恵土地区センター	下恵土 1673	6,015.00 m <sup>2</sup>	2,145.44 m <sup>2</sup>
10	中恵土地区センター	中恵土 1896-1	6,630.07 m <sup>2</sup>	1,154.09 m <sup>2</sup>
11	広見地区センター	広見 7-77	17,719.08 m <sup>2</sup>	3,843.73 m <sup>2</sup>
12	桜ヶ丘地区センター	臈ヶ丘 6-1-1	14,886.49 m <sup>2</sup>	2,999.42 m <sup>2</sup>
13	川合地区センター	川合北 2-14	3,957.33 m <sup>2</sup>	1,628.66 m <sup>2</sup>
14	兼山地区センター	兼山 701-1	5,811.00 m <sup>2</sup>	1,533.03 m <sup>2</sup>

#### 4 施設の現状と課題

##### (1) 現状

##### ア 施設概要（ソフト面）

施設の設置目的	市民の地域活動の促進及び生涯学習の普及振興を図り、もって地域の振興及び福祉の増進に資するため、可児市地区センターを設置する。（可児市地区センターの設置及び管理に関する条例 第1条）
施設の構成	連絡所 図書室、視聴覚室、和室、研修室、ホール、体育室、会議室、多目的室、料理室等
施設で行われる事務サービスの内容	地域活動に関する各種事業、各種講座、地区センターまつり等の実施及び貸館業務 簡易な諸証明業務（連絡所） 使用時間：午前8時30分～午後10時（連絡所は午前8時30分～午後5時15分） 休館日：12月28日～翌年1月4日（連絡所は土曜日・日曜日・祝日・年末年始）
料金体系（時間当たり）	小会議室・図書室 250 円/時間、大会議室・料理室・視聴覚室・工作室・音楽室・和室 360 円/時間、ホール 540 円/時間、体育室 660 円/時間（※1 人につき 1,000 円を超える入場料を徴収する場合、又は営利を目的として使用する場合は 2 倍）

##### イ 施設概要（ハード面）

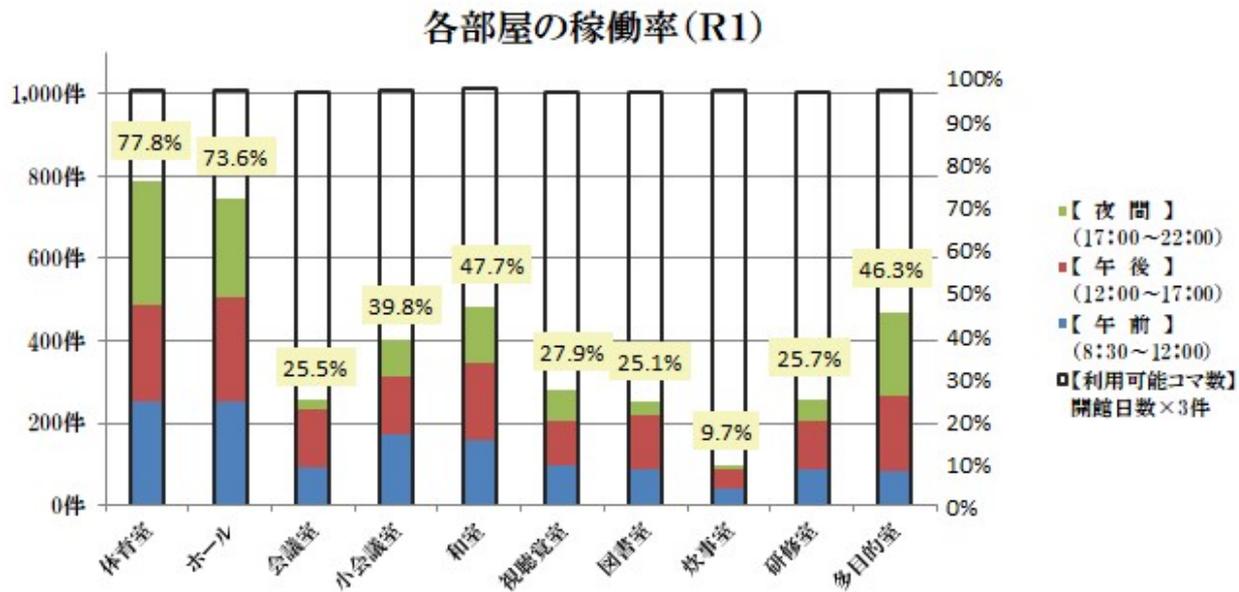
施設名称	建築年度	構造	階層数	屋根	外壁	耐震状況
今渡地区センター	S 5 9	RC・S	2	金属・防水	タイル・吹付	新耐震基準
体育館	H 1 5	S	1	金属	吹付	新耐震基準
土田地区センター	S 6 0	RC・S	2	金属・シート防水	タイル	新耐震基準
帷子地区センター	S 6 3	RC・S	2	防水	タイル	新耐震基準
春里地区センター	H 4	RC・S	1	金属・シート防水	吹付	新耐震基準
分館	S 4 5・5 6	RC・S	2	シート防水	吹付	耐震性一部なし
倉庫	S 4 7	RC	1	防水	吹付	耐震診断未実施
姫治地区センター	H 1	RC・S	2	金属	タイル	新耐震基準
体育館	S 5 7	S	1	金属	吹付	新耐震基準
平牧地区センター	S 6 1・H 8	RC・S	2	金属	タイル	新耐震基準
久々利地区センター	S 4 8・6 3	RC・S	2	シート防水	吹付	耐震性あり・新耐震
広見東地区センター	H 1 0	RC・S	1	瓦	タイル・打放	新耐震基準
下恵土地区センター	S 6 2	RC・S	2	金属・防水	タイル	新耐震基準
中恵土地区センター	H 2・2 1	RC・S	2	金属・放水	タイル	新耐震基準
広見地区センター	H 2	RC・S	2	金属・防水	タイル	新耐震基準
桜ヶ丘地区センター	H 3	RC・S	2	金属	タイル	新耐震基準
川合地区センター	H 9	RC・S	1	瓦・防水	吹付・打放	新耐震基準
兼山地区センター	S 6 2	RC・S	2	金属	タイル	新耐震基準

※構造 RC・S=鉄筋コンクリート造・鉄骨造 S=鉄骨造 RC=鉄筋コンクリート造

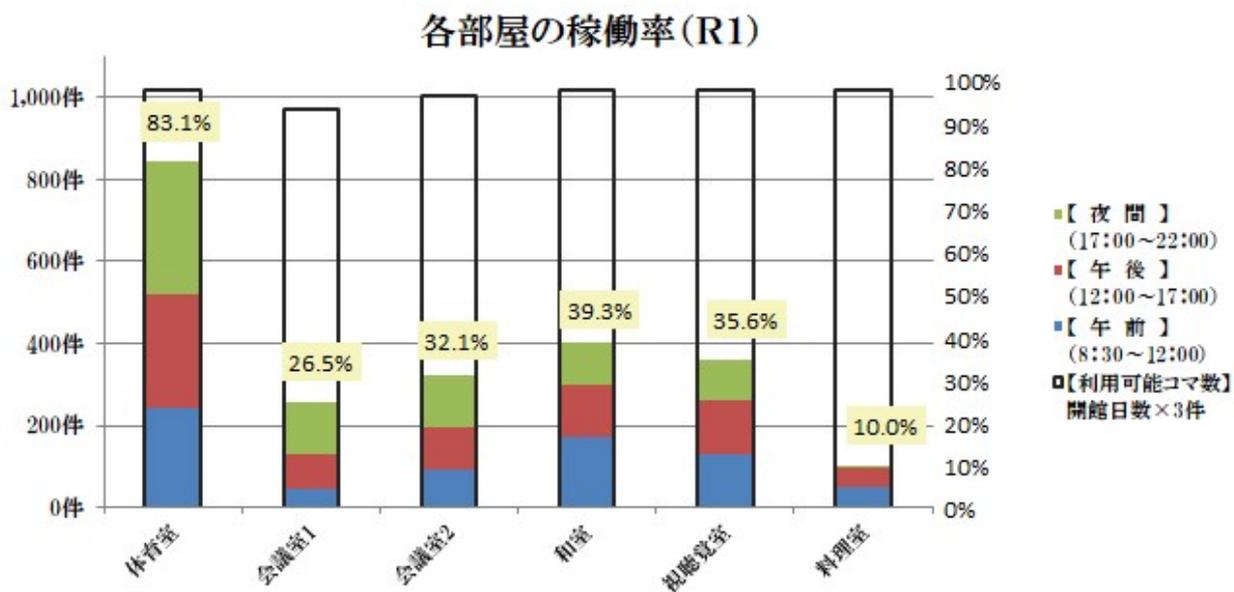
ウ 施設の利用状況

(7) 稼働率

今渡地区センター

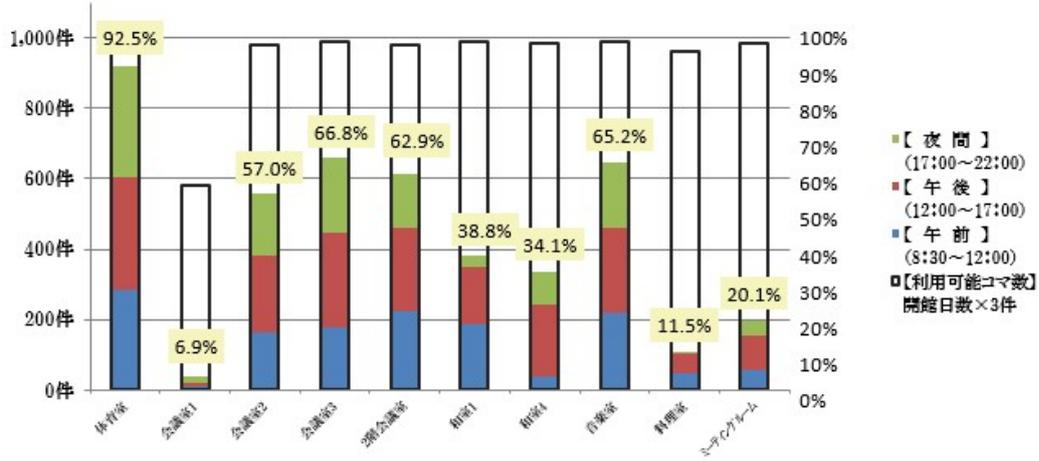


土田地区センター



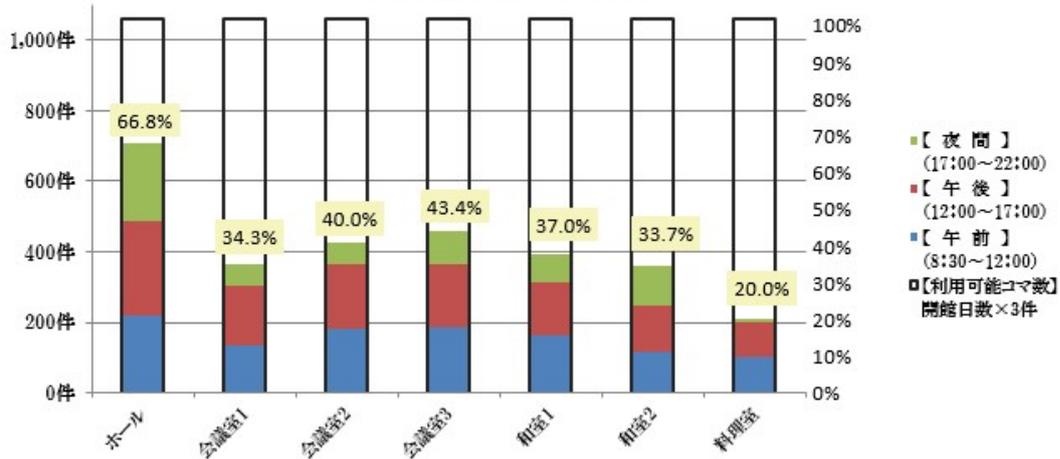
帷子地区センター

各部屋の稼働率(R1)



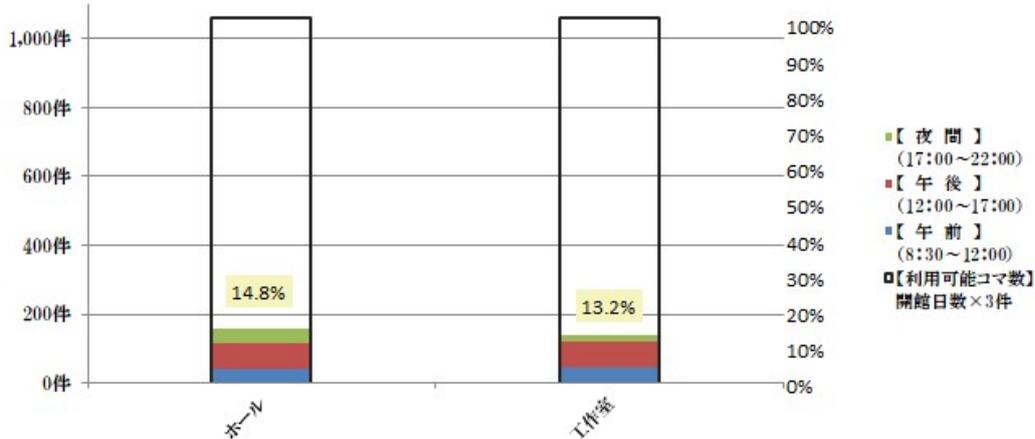
春里地区センター

各部屋の稼働率(R1)

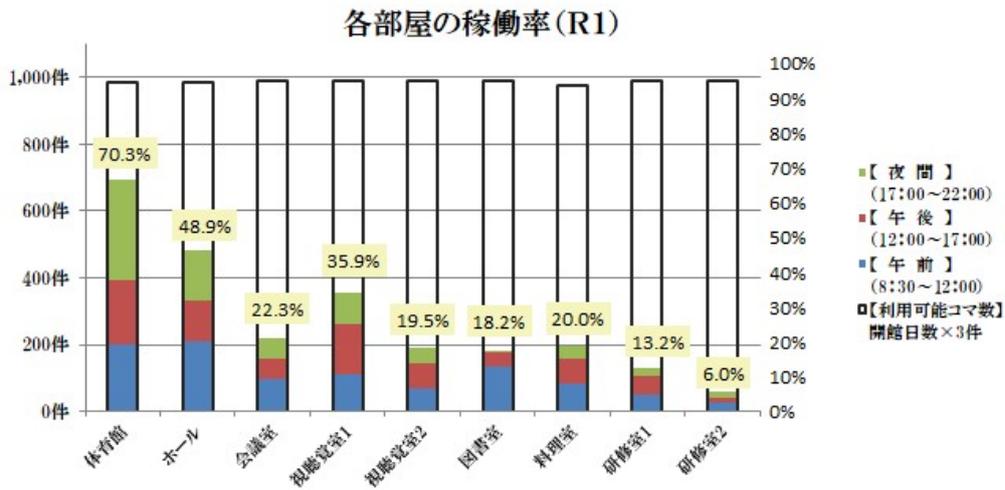


春里地区センター (分館)

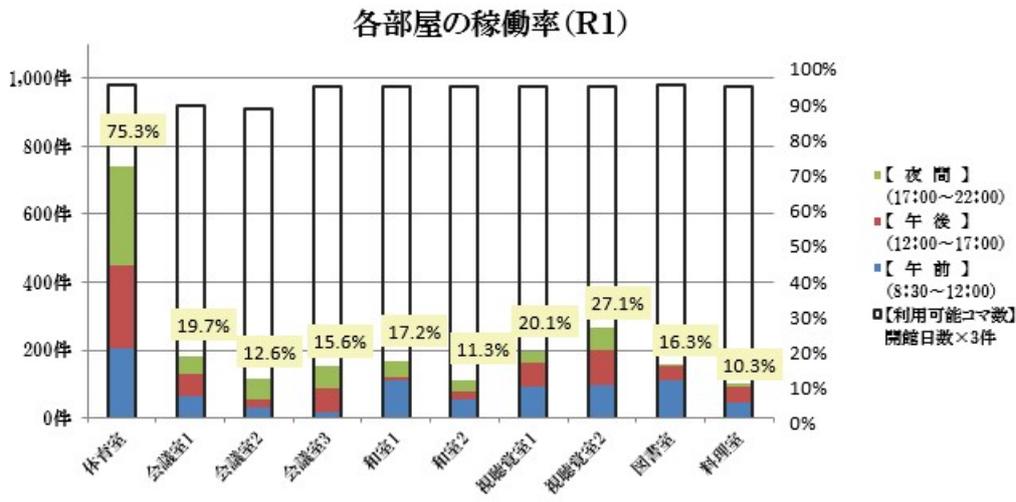
各部屋の稼働率(R1)



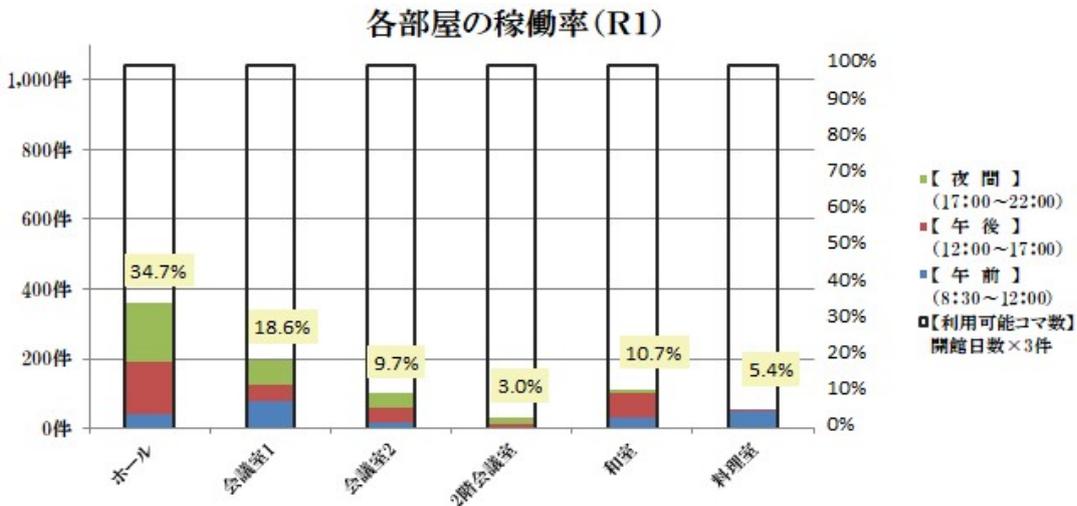
姫治地区センター



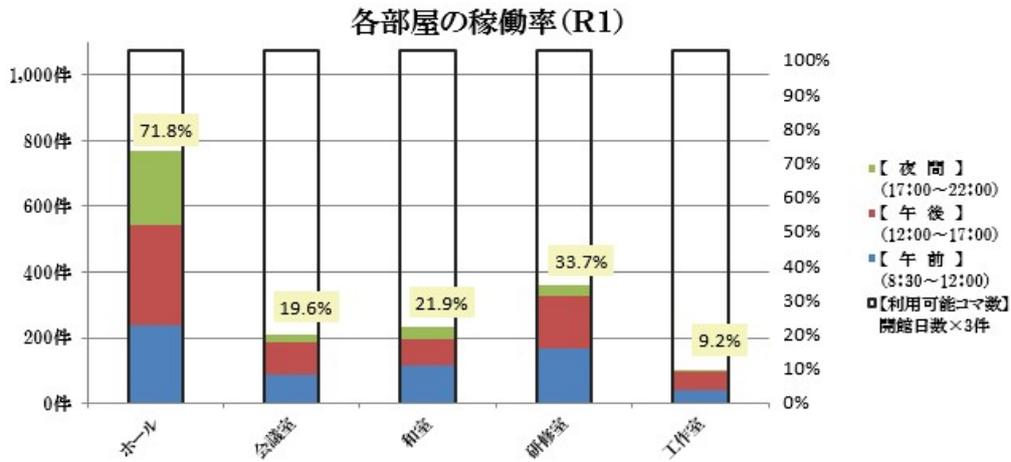
平牧地区センター



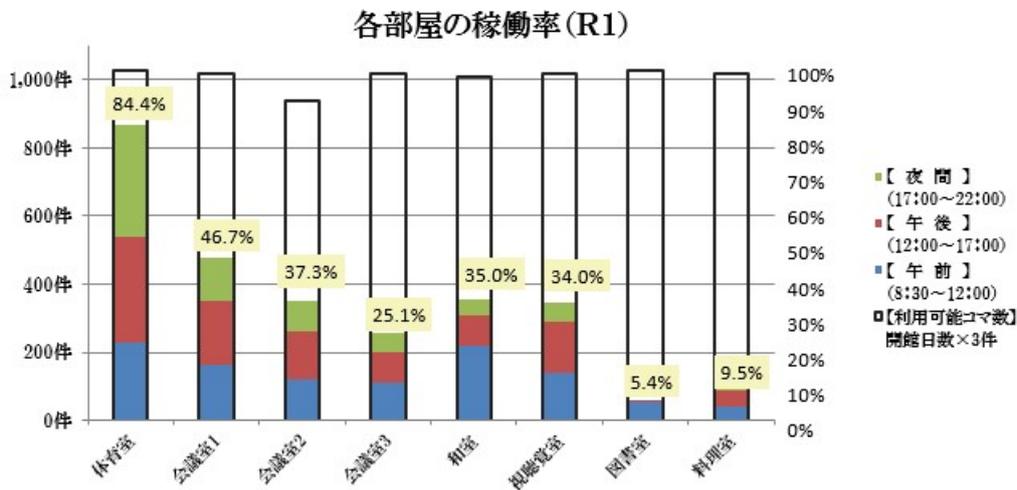
久々利地区センター



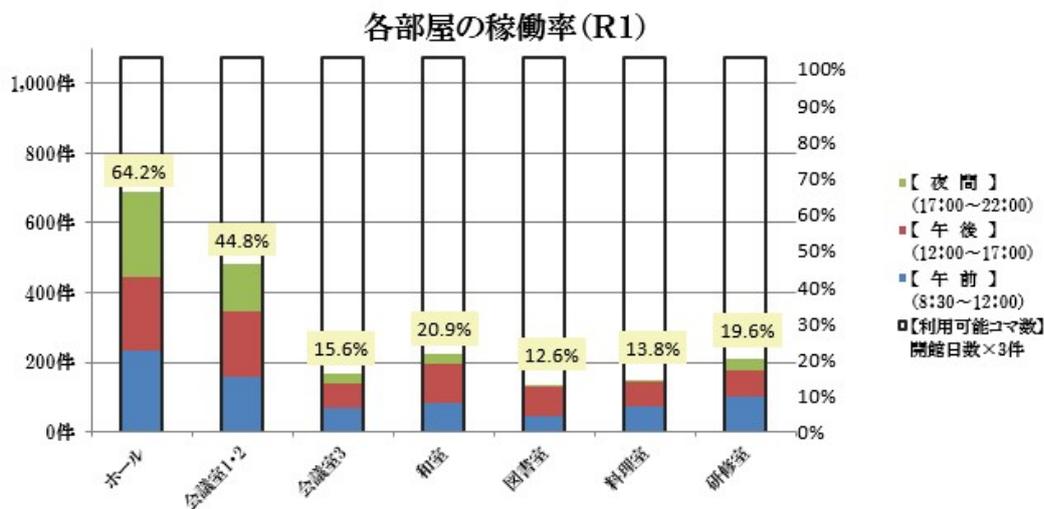
広見東地区センター



下恵土地区センター

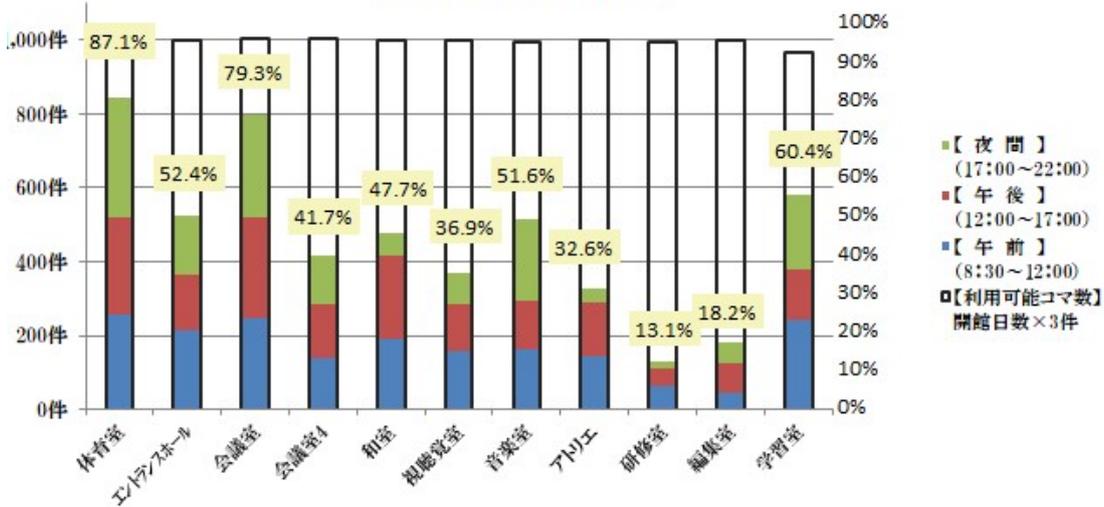


中恵土地区センター



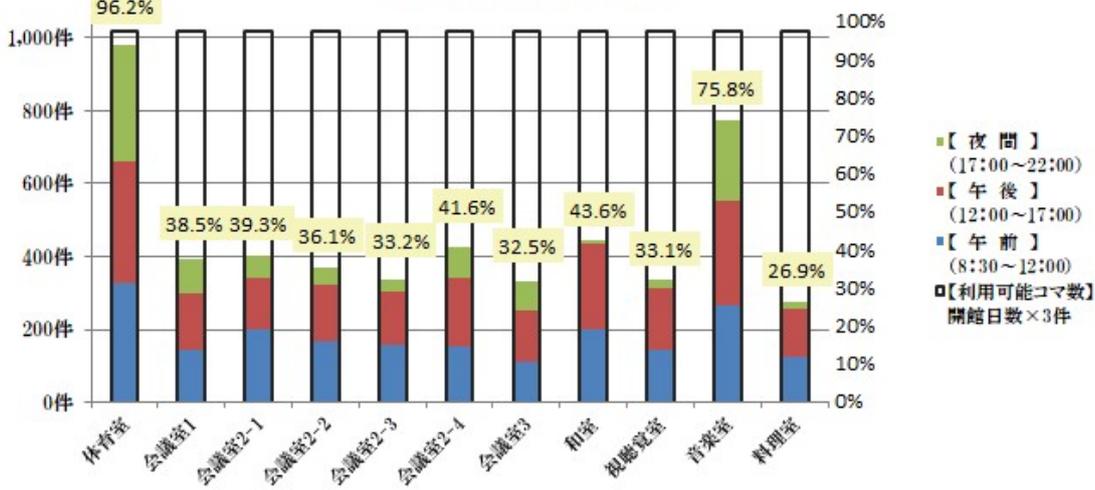
広見地区センター

### 各部屋の稼働率(R1)



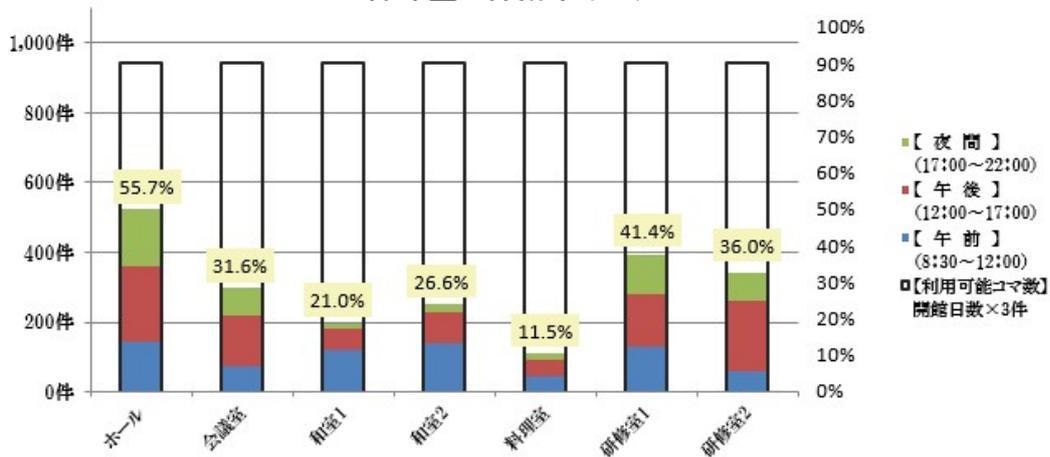
### 桜ヶ丘地区センター

### 各部屋の稼働率(R1)

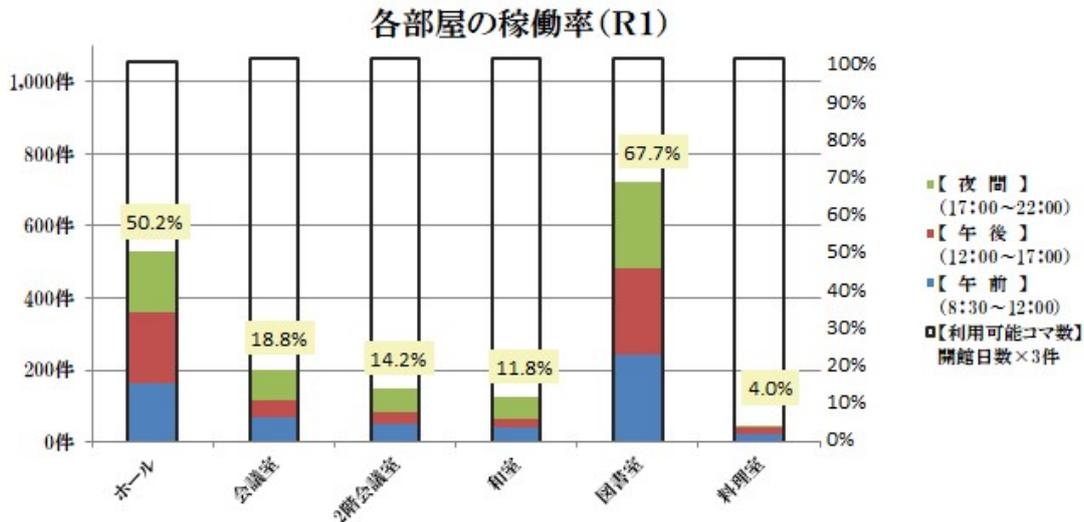


### 川合地区センター

### 各部屋の稼働率(R1)



### 兼山地区センター



体育室の稼働率は70%から96%と非常に高い状況です。一方、他の施設は比較的低い稼働率であり、研修室など10%台の稼働率の部屋もあります

#### (イ) 利用者数の推移

年度	利用者数
H20	557,690 人
H21	534,541 人
H22	540,140 人
H23	538,661 人
H24	521,829 人
H25	528,449 人
H26	527,575 人
H27	549,323 人
H28	451,662 人
H29	444,522 人
H30	455,758 人
R1	455,187 人

平成20年度から平成29年度までは、年々利用者数が減少しており、特に平成28年度以降の減少幅が大きくなっています。平成30年度に地区センターへ移行したことに伴い、利用者数の減少に歯止めがかかり増加に転じました。令和元年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、利用者数は若干減少しています。

## エ その他

### (7) 施設の防災面の視点

可児市地域防災計画で全の地区センター(分館除く)は第1次避難所に指定されています。そのうち、帷子と桜ヶ丘は、災害時第二次物流拠点としても指定されています。また、災害時の優先電話設置場所に全ての地区センターが指定されています。

### (2) 課題

#### ○利用者数の減少

可児市の人口は2040年(令和22年)には9万1,581人と現在の9割程度になると推計されていますが(※)、地区センター利用者数は人口以上の割合で減少しているため、将来の利用者数は現状の8割以下になる可能性もあります。利用者数の推移には留意が必要です。

利用者数が減少傾向にあるのは若い方の利用が少ない面もあります。働いているため、平日昼間に利用することは困難ということもありますが、そもそも利用の方法を知らない、あるいは地区センター活動に関心がないという方も増えてきているのではないかと思います。

※可児市人口ビジョン(平成29年7月改定)では、自然減・社会減対策を実施することにより、2060年(令和42年)において、住民基本台帳の人口で概ね8.6万人を目指しています。

#### ○地区センターの意義

地区センターでは、自分の知識、技術、経験を高めるための趣味・教養・レクリエーション的な活動は盛んであり、生涯学習の拠点となっていますが、地域活動に関する講座や自主的な活動はまだ多くありません。地域コミュニティの拠点として位置づけていることをPRし、地域づくり型生涯学習の推進を啓発していく必要があります。

#### ○適正な施設規模

利用実態で見えていくと、体育室や音楽室の稼働率は非常に高くなっていますが、図書室や調理室の利用が少なく、全体の稼働率を押し下げる原因となっています。かつて存在した公民館設置運営基準に沿ってつくられた特別な部屋(調理室、図書室、視聴覚室など)は、時代の変化により利用が少なくなっています。

会議室についても、3室以上あると稼働率が減少する傾向があります。

ホールも、体育室と比べるとできるスポーツが限られるため、体育室よりも稼働率が低くなっています。

エントランス等の共用スペースが広い、天井が高いなど余裕空間も存在しています。このため、施設の建替えにあたっては利用実態等に基づき、地区センターの適正な規模を検証することが必要です。

#### ○減免制度

地区センター使用料は全額納付が基本ですが、団体の公益性などを勘案して減免制度を設けています。しかし、減免額は使用料全体の4割弱、使用回数は全体の約2割にのぼるなど大きな比重をしめている状況となっています。適正な受益者負担を求めることから減免制度について再検討が必要です。

### ○建物の耐震性

春里地区センター分館は、新耐震基準(S56. 6. 1以降)以前に建てられた建物であり、新耐震基準を満たしていません。耐震化工事については費用もかかるため、分館の存在意義も含め検討が必要です。

## 5 今後の方向性

### ○地区センターをコミュニティの核として位置付ける

公共施設は様々な目的で利用できることが理想です。可見市には、14 地区すべてに体育館（室）或いはホールを備えた地区センターがあり、これは他市にはない魅力と言えるとともに、市民に最も利用されている施設でもあります。この地区センターを地域コミュニティの核と考え、地域の課題解決や地域づくり型生涯学習の拠点施設として、より多くの市民が気軽に利用できるよう利活用の幅を広げていきます。

### ○稼働率の低い部屋の有効活用により市民ニーズに対応

現在、稼働率の低い部屋は、子育て或いは高齢者のサロンのような用途等で利用できるようにすることで、施設を増やすことなく、市民のニーズの高い分野のサービスを拡充することを検討します。

### ○地区センター等の集約廃止の検討

1 地区 1 地区センターという充実した施設配置の中、比較的近接して地区センター等が建設されている地区があります。現状規模の建替えが財政的に困難な状況において、これらは建替え時、或いは適当な時期にその必要性を再検証し、施設の集約廃止を検討する必要があります。

春里地区センター分館は、施設の多くの部分が耐震基準を満たしておらず、廃止を前提とします。

## 6 施設の劣化状況

建物内部、屋根、外壁について部位ごとの目視による確認を基本とし、部分的に触手及び打診調査を実施しました。

### ○建物の劣化状況の評価の定義

劣化度	評価基準
A	概ね良好。特に修繕上問題となる事項なし。
B	部分的な劣化が見られる。経過観察または修繕対応。
C	広範囲に劣化が見られる。5年以内に改修が必要。
D	劣化の程度が大きく、早急な対応が必要。
—	点検対象外。

○施設別項目別劣化状況

名称	劣化状況					
	屋根	外壁	内部	電気	給排水	空調
今渡地区センター	B	B	B	B	B	B
体育館	B	B	A	A	A	A
土田地区センター	C	C	C	B	B	B
帷子地区センター	D	B	B	B	B	B
春里地区センター	B	C	B	B	B	A
分館	C	D	D	C	C	C
倉庫	D	C	C	C	C	C
姫治地区センター	C	B	B	B	B	B
体育館	B	B	B	B	B	B
平牧地区センター	B	B	B	B	B	B
久々利地区センター	A	D	B	C	C	A
広見東地区センター	B	B	B	B	B	B
下恵土地区センター	C	B	B	B	B	B
中恵土地区センター	B	B	B	B	B	B
広見地区センター	B	A	B	B	B	B
桜ヶ丘地区センター	B	B	B	B	B	B
川合地区センター	B	B	B	B	B	B
兼山地区センター	B	A	B	B	B	A

## 7 施設の日常点検

施設利用者の安全確保、施設の予防保全による長寿命化のため、施設の日常点検（自主点検、法令点検、定期点検）を行います。点検において確認された不具合等については、履歴として記録し、以後に、修繕、改修を行う際や個別施設計画を見直す際に、考慮します。

## 8 対策の優先順位の考え方

利用者の安全性確保に係る改修を最優先とし、個別施設の劣化状況、各施設の利用状況、今後の方向性等を勘案し、総合的に判断します。

## 9 対策内容と実施時期

対象施設における今後の対策時期、内容、費用を算出しました。

費用は本計画策定時点における概算であり、工事発注時における詳細な設計や今後の災害発生等の状況、社会情勢の変化により、変動が生じる場合があります。

対策時期についても、本市の財政状況等により、変動が生じる場合があります。

○施設別計画事業費

地区センター

(単位:千円)

	R3	R4	R5	R6	R7	R8
対策内容	屋根 外壁 電気 空調	屋根 外壁 内部 電気 空調	屋根 外壁 内部 電気	屋根 外壁 内部 電気	内部 電気	屋根 内部 電気
費用	38,925 59,510 10,000 62,000	27,804 25,890 3,900 5,000 47,406	88,786 61,401 1,813 7,695	13,432 75,268 34,635 62,098	72,794 73,473	11,522 14,622 147,895
年度計	170,435	110,000	159,695	185,433	146,267	174,039

	R9	R10	R11	R12	計
対策内容	内部 電気	内部 電気 空調	内部 電気	屋根 内部 空調	
費用	102,229 30,171	4,291 43,502 55,453	14,414 1,000	9,188 4,118 49,529	
年度計	132,400	103,246	15,414	62,835	1,259,764

うち今渡地区センター (体育館を含む)

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	計
対策内容	空調	屋根	屋根			電気			内部 電気		
費用	62,000	3,000	30,000	0	0	21,323	0	0	478 1,000	0	
年度計	62,000	3,000	30,000	0	0	21,323	0	0	1,478	0	117,801

うち土田地区センター

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	計
対策内容		屋根			内部		電気			内部	
費用	0	10,000	0	0	3,900	0	15,418	0	0	1,081	
年度計	0	10,000	0	0	3,900	0	15,418	0	0	1,081	30,399

うち帷子地区センター

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	計
対策内容	屋根 外壁		電気			内部 電気		内部			
費用	14,425 26,010	0	1,678	0	0	11,884 49,456	0	1,945	0	0	
年度計	40,435	0	1,678	0	0	61,340	0	1,945	0	0	105,398

うち春里地区センター（分館・倉庫を含む）

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	計
対策内容			屋根 電気	屋根 外壁	内部 電気			内部	内部		
費用	0	0	3,000 2,094	5,000 11,700	11,167 14,833	0	0	369	1,255	0	
年度計	0	0	5,094	16,700	26,000	0	0	369	1,255	0	49,418

うち姫治地区センター（体育館を含む）

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	計
対策内容		外壁	屋根 外壁	電気	内部	屋根 電気			内部	内部	
費用	0	3,000	7,356 20,644	5,006	956	11,522 18,328	0	0	210	956	
年度計	0	3,000	28,000	5,006	956	29,850	0	0	210	956	67,978

うち平牧地区センター

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	計
対策内容	屋根	屋根 外壁 内部				内部 電気	内部				
費用	3,000	6,210 19,890 3,900	0	0	0	442 39,448	982	0	0	0	
年度計	3,000	30,000	0	0	0	39,890	982	0	0	0	73,872

うち久々利地区センター

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	計
対策内容	屋根		外壁	外壁 内部 電気		内部		空調			
費用	5,000	0	3,000	30,000 18,259 10,741	0	1,379	0	55,453	0	0	
年度計	5,000	0	3,000	59,000	0	1,379	0	55,453	0	0	123,832

うち広見東地区センター

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	計
対策内容		屋根 空調	屋根	屋根 外壁 電気	電気			内部			
費用	0	5,594 47,406	3,000	8,432 15,568 26,479	2,128	0	0	627	0	0	
年度計	0	53,000	3,000	50,479	2,128	0	0	627	0	0	109,234

うち下恵土地区センター

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	計
対策内容		電気			内部 電気	内部				内部	
費用	0	5,000	0	0	5,700 20,666	664	0	0	0	1,217	
年度計	0	5,000	0	0	26,366	664	0	0	0	1,217	33,247

うち中恵土地区センター

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	計
対策内容		屋根	屋根 外壁	内部	電気	内部		電気	内部	屋根 空調	
費用	0	3,000	6,698 15,302	99	3,769	253	0	27,664	99	9,188 49,529	
年度計	0	3,000	22,000	99	3,769	253	0	27,664	99	58,717	115,601

うち広見地区センター

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	計
対策内容	電気	外壁	屋根 外壁 内部	電気			内部 電気	内部			
費用	10,000	3,000	35,732 22,455 1,813	4,965	0	0	101,247 14,753	1,251	0	0	
年度計	10,000	3,000	60,000	4,965	0	0	116,000	1,251	0	0	195,216

うち桜ヶ丘地区センター

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	計
対策内容	屋根 外壁			内部	内部 電気	電気			内部		
費用	16,500 33,500	0	0	1,184	49,923 29,077	19,340	0	0	12,372	0	
年度計	50,000	0	0	1,184	79,000	19,340	0	0	12,372	0	161,896

うち川合地区センター

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	計
対策内容					内部 電気			内部 電気			
費用	0	0	0	0	284 3,000	0	0	99 15,838	0	0	
年度計	0	0	0	0	3,284	0	0	15,937	0	0	19,221

うち兼山地区センター

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	計
対策内容			屋根 電気	外壁 内部 電気	内部					内部	
費用	0	0	3,000 3,923	18,000 15,093 14,907	864	0	0	0	0	864	
年度計	0	0	6,923	48,000	864	0	0	0	0	864	56,651